

発達性吃音の臨床

講師 谷 哲夫先生（聖隷クリストファー大学 教授）

発達性吃音は言語聴覚士として専門的対応が求められます。しかし、養成施設の後臨床を始めることが多いのが現状です。発達性吃音は、種々の原因が考えられます。また、症状の捉え方、分析方法、治療プラン、効果検証のプロセスも、臨床経験しながら培っていくことが多いです。臨床経験が少ない言語聴覚士にとっても、発達性吃音の臨床は、常に学びながら、悩みながら実践しておられる場合が少なくありません。本セミナーでは、発達性吃音の臨床経験豊富な、聖隷クリストファー大学 谷哲夫教授から臨床理論と臨床の実際について学びます。セミナーでは、講師と受講者の双方向コミュニケーションによる議論を実施しながら臨床の考え方や具体的方法について理解を深めます。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

19:00～20:15 オンライン

第1回 発達性吃音臨床の理論

10/27 (金)

「幼児吃音臨床ガイドライン第1版(2021)」を基に、実際の臨床で多く遭遇する事例を想定して、症状の捉え方、分析方法、治療プラン立案の考え方を学びます。

第2回 発達性吃音臨床の実際

11/3 (金)

聖隷クリストファー大学の「きこえとことばの相談室」での相談事例について、評価結果と治療プラン作成、効果までの流れなど、動画を供覧しながら臨床実践について学びます。

●参加費 1講座につき 当研究所会員 1,000円 非会員 3,000円

●申込方法 右記のQRコードからお申込みください。

●詳しくはホームページをご覧ください。 <https://fc-science.or.jp/guide7.html>

